

相生バイオマス発電所の本格運転開始

2023年3月27日
 関西電力株式会社

当社が出資する相生バイオエナジー株式会社は、2020年2月から木質ペレットを主燃料とする「相生バイオマス発電所」の建設を進め、2023年3月24日、本格運転^{※1}を開始しました。本発電所は発電出力20万kW、国内最大のバイオマス発電所となります。

バイオマス発電は、大気中のCO₂を吸収しながら成長する植物に由来する燃料を使用する、カーボンニュートラルな発電方法のひとつです。

本発電所の年間発電量は約13.5億kWhであり、一般のご家庭に換算して約43万世帯分^{※2}の年間使用量に相当し、年間約55万t^{※3}のCO₂削減を見込んでいます。

当社グループは、2040年までに国内で再生可能エネルギー500万kWの新規開発、累計900万kW規模の開発に取り組んでいます。今後も引き続き、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※1：FIT制度による再生可能エネルギー電気の供給

※2：当社従量電灯Aの平均的なモデルの使用量を260kWh/月として算定

※3：環境省「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」の算出式をもとに算定

以上

<相生バイオマス発電所の概要>

発電所名	相生バイオマス発電所
事業者	相生バイオエナジー株式会社 ※2017年4月設立
出資会社	関西電力株式会社 (60%) 三菱商事クリーンエナジー (40%)
所在地	兵庫県相生市相生柳山5315番地46
発電出力	200,000kW
発電電力量	約13.5億kWh/年
主燃料	木質ペレット
売電先 (FIT分)	関西電力送配電株式会社

<相生バイオマス発電所の外観>

